

第5回市島地域市立小学校統合準備委員会次第

日時：R4.3.3（木）19:30～

場所：ライフピアいちじま研修室

1 開 会

2 あいさつ

《地域部会の開催》

3 地域部会からの報告

①竹田・前山地域部会

②吉見・鴨庄・三輪地域部会

4 今後の統合準備委員会（全体会）の協議事項及び進め方について

5 自由討議

6 その他

7 次回委員会の日程について

・日 時 月 日（ ）19時30分～

・場 所

8 閉 会

[illegible]

会議記録

令和3年11月26日

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
竹田・前山地域部会
- 日時 令和3年11月24日（水）20:00～21:00
- 場所 ライフピアいちじま団体室
- 出席者 委員：青木修、余田義信、吉見祐也、井上直人、荻野有希、足立三友紀
蘆田勤、吉見典彦、余田淳子
事務局：足立次長、足立課長、芦田係長、小田
統合準備委員：川上教授、山口校長

●内 容

1 部会長・副部会長の選出

丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会設置要綱第8条第2項に基づき、委員の互選により、以下のとおり決定した。

部会長：竹田地区自治振興会 青木 修 委員
副部会長：前山小学校 PTA 井上直人 委員

2 自由討議『統合の「形態」「時期」「場所」について』

◆形 態

【決定事項】

- ・竹田小学校と前山小学校が統合する。

◆時 期

【決定事項】

- ・PTAによるこども園・小学校保護者へのアンケートを実施し、その結果を参考に、今後地域部会で協議する。

【意見等】

- ・令和5年度前山小学校入学児が4人であることを考えると、統合を考えていかねばと思う。しかし、令和5年度に複式学級になるのではないので、もう少し先に統合させたい。
- ・こども園保護者には、状況を資料提供し、意見を求めたが、一人も意見はなかった。
- ・両校の校舎を見たことがないので、見学会を計画してほしい。
- ・令和5年の統合は準備の時間がない。令和6年をめざしたい。
- ・現4歳児4人の保護者やその友人からは、早く一緒になってほしいという意見を聞いている。
- ・竹田小に統合するという予想で、令和5年の統合か、複式学級が予想される令和7年かといった、シンプルなアンケートを、両地区保護者にとればいい。
- ・アンケートは万能ではない。調査で拾えるものと、拾えないものがある。また、賛否を問えば、思った通りになった人と思い通りにならなかった人の分断が生じることもある。また、子どもの学年によって思いが異なるので、学年を分けてアンケートをとる方がいい。いずれにしても、それらを踏まえた上でアンケートをとることが大切。

◆場 所

【決定事項】

- ・決定事項なし。

◆その他

- ・12月中にアンケートを実施し、集約後、地域部会を開催する。時期は12月中下旬

3 その他

- ・次回日程 令和3年12月（予定）

会議記録

令和3年12月23日

●会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第2回 竹田・前山地域部会

●日時 令和3年12月22日（水）19:30～21:00

●場所 前山小学校 会議室

●出席者 委員：青木修、余田義信、吉見祐也、井上直人、荻野有希、足立三友紀、
四方まどか、蘆田勤、吉見典彦、余田淳子
事務局：足立次長、足立課長、井尻課長、船越係長、小田指導主事、畑中

●内 容

1 統合の時期及び場所について

副部会長より、竹田小・前山小 PTA、認定こども園あいいくの丘で実施したアンケートの概要と結果の説明があり、事務局が配布した学校施設の比較資料と併せ、協議を実施した。

【意見等】

- ・2校の合計が一番多いのは現在の4年生でその後は減っていくことが予想されるため、令和6年、7年あたりがいいのではないかな。
- ・段階的な統合でその都度、校歌や校章を変えていくのは手間がかかる。
→それらを変えないという選択肢もあり得る。その辺りも含めて検討してほしい。（事務局）
- ・校名は竹山小学校とし、校歌・校章は、竹山中学校のものを一部修正し、使用してはどうか。
- ・複式学級が発生する前に統合するのがよい。
- ・吉見・鴨庄・三輪地域部会の資料を見ると PTA の統合に関するすり合わせが大変そうに感じた。そのようなことを考慮すると、令和5年度の統合は厳しいと思う。
- ・教育現場からすれば、校歌・校章は児童たちからすればそこまで大きな問題ではないと思う。子どものことを考えると、5年ほど先までこの問題が尾を引いているのは良くないと思う。
- ・複式学級を避けることで丹波市立学校適正規模・適正配置方針に対応することができる。
- ・前山小 PTA の役員会で寄せられた意見では令和5年度が一番多く、その次に多いのが令和8年度以降であった。令和5年度の場合は準備が相当大変になるということを伝えたところ、そうであるなら、令和6年度に統合してほしいという意見もあった。
- ・前山小学校に30脚並べた図を見ると、令和5年度では全員が教室に入りきることが難しそうに感じる。なるべく早く統合を目指し、前山小学校の校舎を使うのであれば、令和6年度のほうがいいと思う。また、どちらの校舎でも使用できる形で協議を進めていくためにも令和6年度がよいと思う。
- ・保護者にもアンケート結果等を報告し、意見を伺う機会を設ける必要があると考えている。
- ・場所や時期が決まった場合は、具体的な統合の協議事項やスケジュールはどのようになるのか。1年ぐらいあれば統合は可能なのか。
→可能だが、場所や校名・校歌・校章が決まっているのが前提であるため、この部会では

まずそれらを早く決定する必要がある。(事務局)

- ・令和4年度中に場所や校名・校歌・校章を決めれば、令和6年度には統合は可能か。
- 来年度の今頃まで結論が出ないとその後の協議スケジュールに余裕がなくなるため、令和4年度の7月ごろには場所等の決定は必要だと考えている。(事務局)
- ・場所についての共通認識が図れないと協議が進まないの、そこをまずは議論しないといけない。
 - ・小学校とこども園それぞれのアンケートの結果を見て、それぞれの様子をイメージし、何故その結果になったのかを考えることが大切である。
 - ・統合の時期が決まった後も、合同で授業を行うなど統合までの動きが大切である。
 - ・今日は前山小学校の校舎見学をするので、場所の決定は次回に竹田小学校の校舎見学をしてからのほうがよいのではないかと。
 - ・アンケートでは60～70%が保護者対象の見学会を希望しているという結果が出ているので、早期に見学会を実施するべきである。

2 その他

- ・次回日程 令和4年1月21日(金) 19時30分～
竹田小学校

会議記録

令和3年11月25日

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日時 令和3年11月24日（水）20:00～20:40
- 場所 ライフピアいちじま研修室
- 出席者 委員：坂谷高義、木寺章、淵上利美、由良英樹、加藤宏生、足立幸司、
淵上智帆、宇佐美大介、坂谷幸久、吉井公乃、足立圭造、内田順子、中澤正樹、田野悟
事務局：藤原部長、井尻課長、荒木課長、足立指導主事、船越係長、畑中

●内 容

1 部会長・副部会長の選出

丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会設置要綱第8条第2項に基づき、委員の互選により、以下のとおり決定した。

部会長：美和地区自治振興会 淵上利美 委員
副部会長：吉見小学校 PTA 由良英樹 委員

2 自由討議『統合の「形態」「時期」「場所」について』

◆形態

【決定事項】

- ・吉見小学校と鴨庄小学校が統合する。
- ・三輪小学校は引き続き協議に参加し、今後の児童数の増減や全体会の進捗状況などを考慮し、吉見小学校、鴨庄小学校との統合を検討する。

◆時期

【決定事項】

- ・吉見小学校と鴨庄小学校の統合は、令和5年度の開校を目指す。

【意見等】

- ・令和8年度であれば、大規模な施設整備が不要とされているが、資料を見ると、35人又はそれに近い人数の年代があり、転入などで人数が増えると、増築等を行う必要があるということを考慮する必要があるのではないかと。
- ・将来的に5校が1校になるかどうか等の全体会での議論の進み方でも判断が変わるので、時期について明言するのは難しい。

◆場所

【決定事項】

- ・吉見小学校と鴨庄小学校の統合の場所は、現在の吉見小学校とする。

◆その他

- ・吉見小学校と鴨庄小学校の統合後の「校名・校歌・校章」については今後引き続き協議を行う。

3 その他

- ・次回日程 令和3年12月（予定）

会議記録

令和3年12月15日

- 会 議 名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
 第2回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日 時 令和3年12月14日（火）19:30～21:00
- 場 所 ライフピアいちじま研修室
- 出 席 者 委 員：坂谷高義、木寺章、湊上利美、由良英樹、加藤宏生、湊上智帆、
 宇佐美大介、坂谷幸久、吉井公乃、足立圭造、内田順子、中澤正
 樹、田野悟
 事務局：足立課長、井尻課長、船越係長、足立指導主事、小田指導主事、
 畑中

●内 容

1 今後の地域部会での協議事項及びスケジュールについて

事務局より、令和5年度に吉見小学校と鴨庄小学校が統合する場合の協議項目及びスケジュール案の説明を行った。

【意見等】

- ・PTAの役員が年度で変わるので、来年度の役員を統合準備委員に加える等の対応は可能なのか。
- 今後の協議の進み具合に応じて、対応を検討する。また、統合準備委員を交代せずに、PTAの新役員等に部会への報告のために適宜参加いただくという形をとることも可能である。（事務局）

2 吉見小学校及び鴨庄小学校の統合後における校名・校歌・校章について

【決定事項】

鴨庄地域の中で校名・校歌・校章について説明会を行い、意見を聞き、次回の部会でその結果を報告し、決定する。

【意見等】

- ・鴨庄地区では、地域の意見の集約がまだ終わっていないため、もう少し結論は待ってほしい。
- ・地域ではいろんな意見があるが、校名・校歌・校章を変えると統合に時間を要するということも理解していただいている。
- ・昔の中学校の枠組みで、「竹山」「山東」という考えもあるが、今回の統合ではその名称にはこだわらずに考えていきたいと考えている。
- ・2校の校歌歌詞を一つにしたような校歌を作ることはできないか。
- ・将来的に市島小学校（仮称）になる場合の校歌を今の段階から作っておいて、それを採用することはできないか。
- ・スムーズな統合を考えたら校名・校歌・校章は吉見小学校のままでいい。しかし、校名・校歌・校章の全てを吉見小学校のものを採用すると、鴨庄小学校の児童が吉見小学校へ転校したように捉えることもできる。児童の中には鴨庄小学校の児童であることに誇りを持っている子もいると思うので、その子たちの心のケアについてももしっかり検討して欲しい。
- 新しい学校、良い学校を作っていこうという気持ちを持ち、保護者、地域、学校がそれぞれが協力していくことが大切だと考えている。

→鴨庄小学校では児童に統合協議の進捗状況を報告しており、「学校が無くなるのは寂しいが、子どもの未来を考えて決断をされた」ということを伝えている。しかし、一番の当事者である子どもたちは当然不安に感じることもある。その不安については学校の教育課程を工夫することで対応できることもあると認識している。保護者、地域、学校がそれぞれ協力しあいながら進めていくことが大切であり、今後とも協力いただきたいと考えている。

3 その他

次回の部会に向けて、今回提示した協議項目の中で、事前に伝えておきたいことや質問事項がないか委員の意見を伺った。

【意見等】

○通学方法について

- ・鴨庄校区のバス停はアフタースクールの場所の1カ所とし、アフタースクールを利用しない児童はそこから歩いて帰るという方法はどうか。
 - ・保護者はいろいろな意見を持っていると思うので、それを集約する必要がある。
 - ・学校としては安全面を考慮する必要がある。
 - ・吉見小学校区の地域の中で、鴨庄小学校区の一部の地域よりも吉見小学校から遠い地域がある。その場合、吉見小学校区の遠い地域の児童はバスに乗せてもらえるのか。
- 今後の協議にもよるが、スクールバスについては、まずは統合の影響を受ける鴨庄小学校区の児童の通学支援を優先的に考えたいと思っている。(事務局)
- ・通学支援について素案を出してもらい、保護者に意見を聞くのはどうか。
- 次回に通学支援の素案を提示する。(事務局)

○アフタースクールについて

- ・鴨庄地域では、小学校が廃校になることに加えてアフタースクールも無くなるのは寂しいという意見もある。
- ・鴨庄校区内にアフタースクールがあることによって祖父母が送迎等の支援をしやすいいという側面がある。

○今後の地域部会における三輪地区の関わり方について

- ・一部の具体的な項目を除き、PTAの統合などは三輪地区が統合する場合に影響があることが予想されるため、三輪地区も今後の協議に参加する。
 - ・この部会としては、三輪小学校の統合を意識して議論する必要がある。
 - ・三輪小学校の統合協議は今後どうなる予定か。
- 来年度中（R4）に5校→1校の協議も含めて結論を出したいと考えている。(事務局)

- ・次回日程 令和3年1月24日（月）19時30分～
ライフピアいちじま 研修室

「5校→1校」統合に関するこれまでの協議経過

市島地域のこれからの教育を考える会 (H24～H29)	【具体的方策に対する見解】 統合の際には、同一敷地内での施設一体型小中一貫教育を目指すことが望まれる。 【提言】 同一敷地内に小中一貫教育校を設置し、小学校から中学校の9年間の学びと育ちの連続性を保障した、特色ある教育課程、特色ある学校行事、PTAの活性化等、より活力にあふれた学校運営が展開できる環境を創ることで、市島地域としても、地域の文化、人のつながり、豊かな自然を活かしたまちの魅力の一つとして、地域外からの好影響が期待できる。
	フォーラム・保護者説明会
統合検討委員会 (R2)	○統合の是非について投票を実施 ⇒統合を前提に協議を進めていくことが決定 ※投票は統合の形態を問わずに実施（5校を存続／いずれかの学校が統合する）
統合準備委員会 (R3～)	○地域ヒアリングの実施 ⇒「できるだけ早く統合すべき」という意見 ○統合協議の枠組みの決定 ⇒「5校→1校」統合の協議は時間を要するため、早期統合の実現を目指すし、地域部会（竹田・前山／吉見・鴨庄・三輪）を設置し、それぞれで個別具体的な協議を進めることが決定 ○「5校→1校」統合の継続協議 ⇒地域部会の協議と併行し、「5校→1校」統合の協議も進めていくことが決定

「5校→1校」統合の検討項目

統合の「形態」

- 小中一貫教育
- ・義務教育学校
- ・施設一体型・施設分離型

【参考】「市島地域のこれからの教育を考える会」提言

同一敷地内に小中一貫教育校を設置し、小学校から中学校の9年間の学びと育ちの連続性を保障した、特色ある教育課程、特色ある学校行事、PTAの活性化等、より活力にあふれた学校運営が展開できる環境を創ること、市島地域としても、地域の文化、人のつながり、豊かな自然を活かしたまちの魅力の一つとして、地域外からの好影響が期待できる。

統合の「場所」

- 新たな場所を設定（新校舎建築）
- ・建設用地の確保が必要
- ・建設費が高額になる
- 既存校舎の活用
- ・教室数が不足
⇒増築／統合時期の調整

統合の「時期」

- 段階的統合との調整
- ・吉見小・鴨庄小⇒R5（三輪小は検討中）
- ・竹田小・前山小⇒検討中
- 時期の決め方
- ・明確な時期の決定⇒「R〇に1校に統合する」
- ・統合の条件を決定
⇒「（例）段階的統合後、更に複式学級が発生した場合に1校統合を検討する」

市島地域 児童数及び学級数の推移

【各校区別】

R3.3.31住民基本台帳データより

学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
竹田小学校	9	12	13	15	12	13	74	12	12	12	15	19	11	81
前山小学校	6	6	7	9	4	12	44	8	12	12	14	16	17	79
吉見小学校	14	18	13	15	16	11	87	15	20	19	18	18	13	103
鴨庄小学校	4	1	9	10	10	6	40	8	10	9	8	3	6	44
三輪小学校	12	8	12	10	20	11	73	10	25	12	11	15	8	81
市島地域 合計	45	45	54	59	62	53	318	53	79	64	66	71	55	388

【竹田・前山】

学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
竹田小学校	9	12	13	15	12	13	74	12	12	12	15	19	11	81
前山小学校	6	6	7	9	4	12	44	8	12	12	14	16	17	79
合計	15	18	20	24	16	25	118	20	24	24	29	35	28	160

【吉見・鴨庄・三輪】

学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
吉見小学校	14	18	13	15	16	11	87	15	20	19	18	18	13	103
鴨庄小学校	4	1	9	10	10	6	40	8	10	9	8	3	6	44
三輪小学校	12	8	12	10	20	11	73	10	25	12	11	15	8	81
合計 (吉見・鴨庄)	18	19	22	25	26	17	127	23	30	28	26	21	19	147
合計 (吉見・鴨庄・三輪)	30	27	34	35	46	28	200	33	55	40	37	36	27	228

：10人未満の年齢

：10人未満かつ複式学級又は複式学級の可能性がある年齢

：36人以上になり、2学級になる年代

：特別支援学級児童数や区域外就学児童数を考慮すると実際には35人以下となる年代

：36人以上になるが、学級人数引き下げの段階的措置により、当該年度では40人学級が適用される年代

小学校区別生徒数の推移

【年齢別人口統計表 R3.3.31時点 市民課】

学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	就学前計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校計	中1	中2	中3	中学校計
崇広小学校	60	51	75	66	72	67	391	76	65	66	68	80	64	419	78	70	82	230
新井小学校	25	20	18	20	19	13	115	15	19	12	15	20	18	99	14	20	30	64
柏原地域	85	71	93	86	91	80	506	91	84	78	83	100	82	518	92	90	112	294
中央小学校	32	39	32	25	35	50	213	41	40	40	44	42	39	246	34	35	29	98
東小学校	27	43	52	47	50	47	266	59	46	43	49	52	47	296	54	43	49	146
西小学校	15	9	11	10	17	14	76	21	17	24	17	34	19	132	17	29	13	59
南小学校	13	14	24	20	22	20	113	17	17	22	18	18	21	113	20	30	21	71
北小学校	16	16	16	19	14	22	103	21	22	21	34	29	25	152	32	40	35	107
氷上地域	103	121	135	121	138	153	771	159	142	150	162	175	151	939	157	177	147	481
青垣小学校	21	23	23	32	43	31	173	43	43	39	58	50	44	277	45	53	41	139
青垣地域	21	23	23	32	43	31	173	43	43	39	58	50	44	277	45	53	41	139
黒井小学校	25	18	32	26	24	27	152	37	26	38	32	28	28	189	22	25	27	74
春日部小学校	13	15	18	17	14	19	96	19	17	17	25	17	17	112	23	10	25	58
大路小学校	7	12	10	11	20	12	72	9	17	14	15	20	14	89	15	13	18	46
進修小学校	12	14	9	19	12	12	78	15	16	17	20	20	20	108	23	21	20	64
船城小学校	11	4	5	5	9	8	42	10	16	7	8	15	17	73	11	11	13	35
春日地域	68	63	74	78	79	78	440	90	92	93	100	100	96	571	94	80	103	277
上久下小学校	2	7	4	7	12	5	37	11	6	8	8	11	15	59	13	11	10	34
久下小学校	19	21	17	21	19	17	114	15	23	14	16	23	22	113	22	19	16	57
小川小学校	10	9	10	16	15	25	85	14	21	14	13	14	19	95	17	12	18	47
和田小学校	17	25	23	32	31	24	152	32	36	37	40	27	37	209	33	33	35	101
山南地域	48	62	54	76	77	71	388	72	86	73	77	75	93	476	85	75	79	239
竹田小学校	9	12	13	15	12	13	74	12	12	12	15	19	11	81	20	20	22	62
前山小学校	6	6	7	9	4	12	44	8	12	12	14	16	17	79	12	19	15	46
吉見小学校	14	18	13	15	16	11	87	15	20	19	18	18	13	103	14	10	15	39
鴨庄小学校	4	1	9	10	10	6	40	8	10	9	8	3	6	44	8	8	15	31
三輪小学校	12	8	12	10	20	11	73	10	25	12	11	15	8	81	14	15	14	43
市島地域	45	45	54	59	62	53	318	53	79	64	66	71	55	388	68	72	81	221
全地区	370	385	433	452	490	466	2,596	508	526	497	546	571	521	3,169	541	547	563	1,651

10人未満の年齢

10人未満かつ複式学級又は複式学級の可能性がある年齢